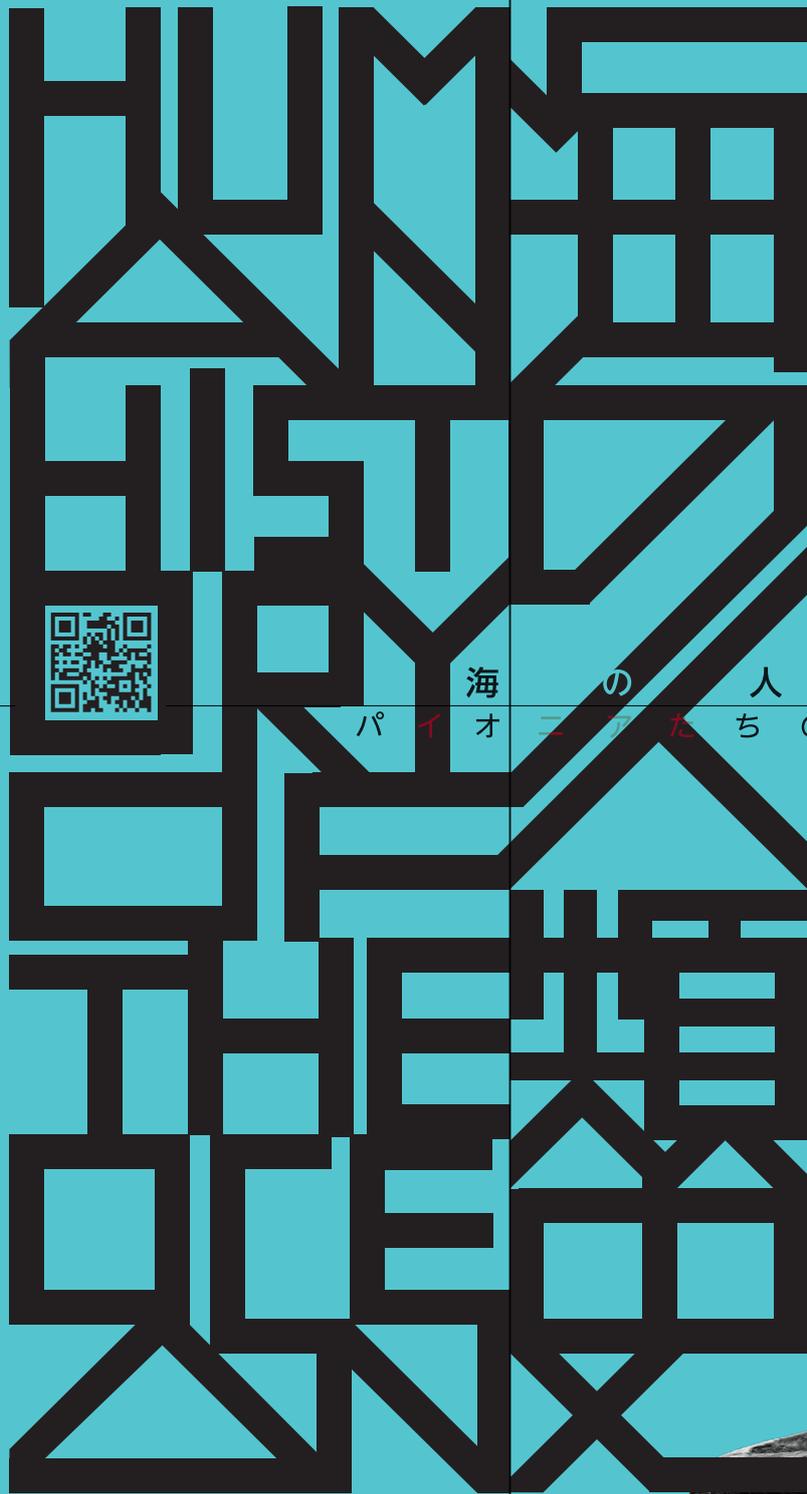


原始 × 現代
見えない島を
私たちが祖先
たちはは祖先
えなちは祖先
たちはは祖先
たちはは祖先

巨大マグロを捕えていた縄文人



海の人類史
パイオニアたちの100万年

2024
07
05
fri
10
06
sun

JPタワー学術文化総合ミュージアム

インターメディアテック

開館時間：11時-18時（金・土曜日は20時まで開館）*時間は変更する場合があります。

11:00 - 18:00 (open until 20:00 on Fridays and Saturdays) *Opening hours may change.

入館無料 Admission Free

東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE 2-3階

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日休館）、その他館が定める日

KITTE 2-3F, 2-7-2 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, JAPAN
Closed on Mondays (or the following Tuesday if Monday is a National Holiday)
May close irregularly.

INTERMEDIATHEQUE



— 祖先たちの挑戦のドラマ、そして現代の私たち —

3万8000年前頃に現れた「最初の日本列島人」は、困難な海を渡ってきた「航海者」だったことがわかってきました。

その後に続いた縄文人の海への挑戦も、見逃せません。祖先たちが繰り広げてきた知られざる人間ドラマ。

それを受け継いだ現代社会は、どのように海と向き合い、そこから何をしようとしているのか、その最前線の現場を紹介します。

展示構成

第一部：先史時代の挑戦 Part I Challenges in Prehistory

- ① 人類最古の渡海 — 海を渡った謎の原人 — 100万年前頃
Chapter 1 The Oldest Evidence: Mysterious Early Humans Who Crossed the Sea — c. One Million Years Ago
- ② 本格的海洋進出のはじまり — 「最初の日本列島人」の挑戦 — 40000〜30000年前
Chapter 2 The Beginning of Full-Scale Ocean Expansion — 40000 to 30000 Years Ago
- ③ さらに遠くへ — 縄文人の挑戦 — 16000〜3000年前
Chapter 3 Further Afield: Challenges of the Jomon People — 16000 to 3000 Years Ago
- ④ 次なる時代へ — 縄文海洋進出の終焉 — 3000〜2000年前
Chapter 4 The Next Era: The End of Jomon Ocean Expansion — 3000 to 2000 Years Ago

台湾から与那国島を目指す丸木舟
国立科学博物館「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」より



沖縄島で発掘された世界最古の釣り針
所蔵：沖縄県立博物館・美術館



縄文人が八丈島へ持ち込んだ石製アクセサリー
所蔵：八丈町教育委員会



縄文人が遠い島から入手していた貝のアクセサリー
所蔵：東京大学総合研究博物館



縄文人が使っていた精巧な漁具 所蔵：東京大学総合研究博物館



帆船を発展させた構想中の水素エネルギープラント 提供：株式会社商船三井

第二部：現代のチャレンジ Part II Contemporary Challenges

- ⑤ 新しい船をつくる — 風の復権
Chapter 5: Constructing a New Ship — the Return of the Wind
- ⑥ 海上の安全と海洋環境を守る — 個から組織へ
Chapter 6: Protecting Maritime Safety and the Marine Environment — From Individuals to Organizations
- ⑦ 新しい船を設計する — 技術革新の最前線
Chapter 7: Designing New Ships — Frontiers of Technological Innovation

イベント情報

- 7/7(日) 14:00~16:30 映画『スギメ』(3万年前の航海 徹底再現プロジェクト)上映会
 - 7/15(月祝) 14:00~16:30 講演会『海への挑戦 原始×現代』
- ※どちらもインターメディアテックにて。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

入館無料 Admission Free

主催：東京大学総合研究博物館／協賛：ファーマライズホールディングス株式会社 株式会社商船三井 一般財団法人日本海事協会
一般財団法人山縣記念財団／後援：東京大学海洋アライアンス連携研究機構 日本航海学会 日本船舶海洋工学会
企画協力：東京大学海事デジタルエンジニアリング講座 (MODE)
Organizer: The University Museum, The University of Tokyo (UMUT) / Cosponsors: Pharmarise Holdings Corporation Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.
Nippon Kaiji Kyokai Yamagata Maritime Institute / Support: The University of Tokyo Ocean Alliance Collaboration Research Organization
Japan Institute of Navigation The Japan Society of Naval Architects and Ocean Engineers
Cooperation: Maritime and Ocean Digital Engineering Laboratory (MODE)